

# ヒト皮膚線維芽細胞によるCRDの機能的評価

## 1. 細胞賦活作用

線維芽細胞の増殖率はMTT(tetrazolium salt 3-[4,5-dimethylthiazol-2-yl]-2,5-diphenyltetrazolium bromide)法で測定した。

## 2. コラーゲン産生能

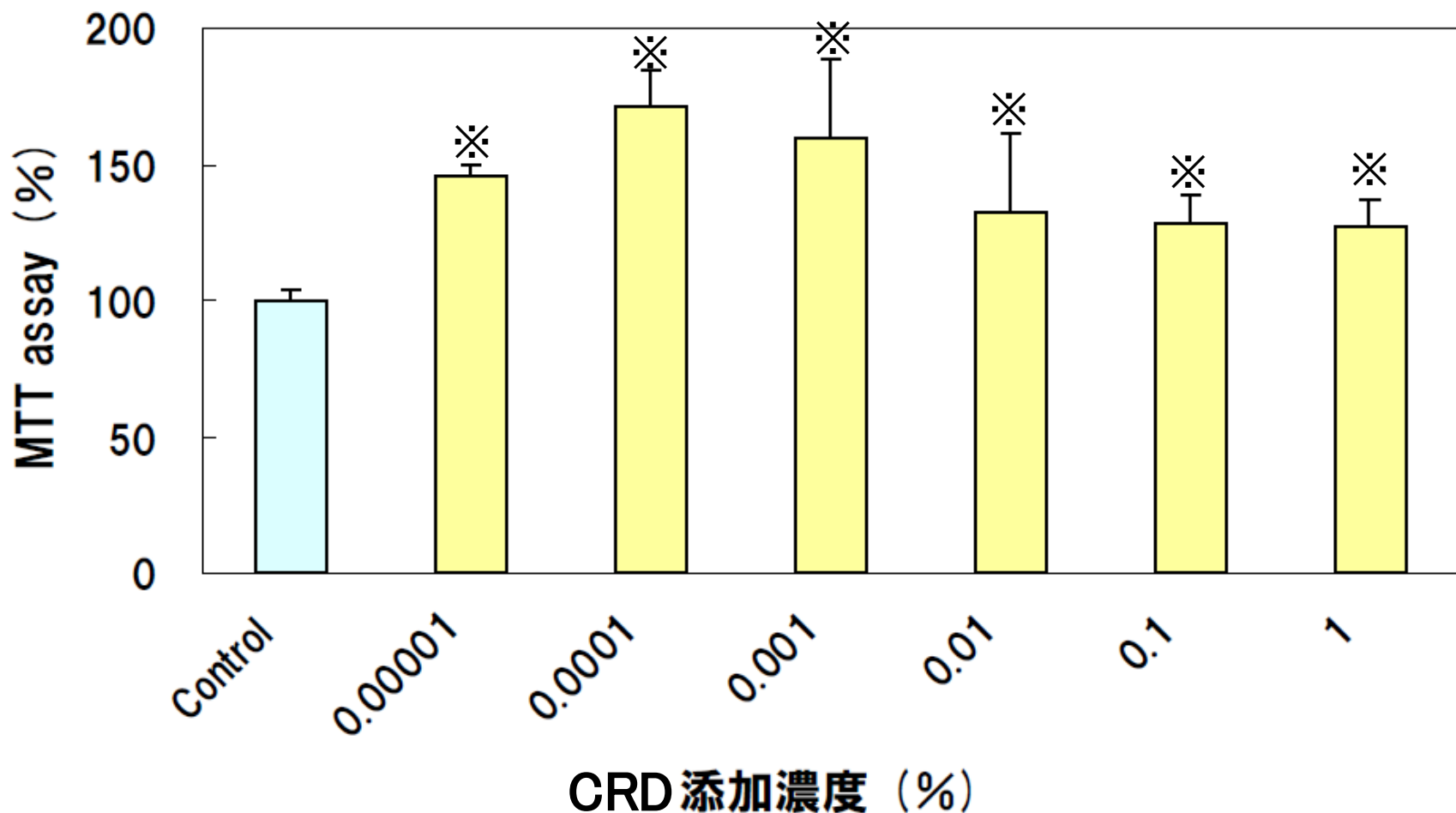
線維芽細胞の細胞外基質中のコラーゲン量を測定した。  
これは皮膚再生の促進させることができるか否かの指標の一つとなる。

## 3. ヒアルロン酸産生能

線維芽細胞の細胞外基質中のヒアルロン酸を測定した。  
これは皮膚再生の促進させることができるか否かの指標の一つである。

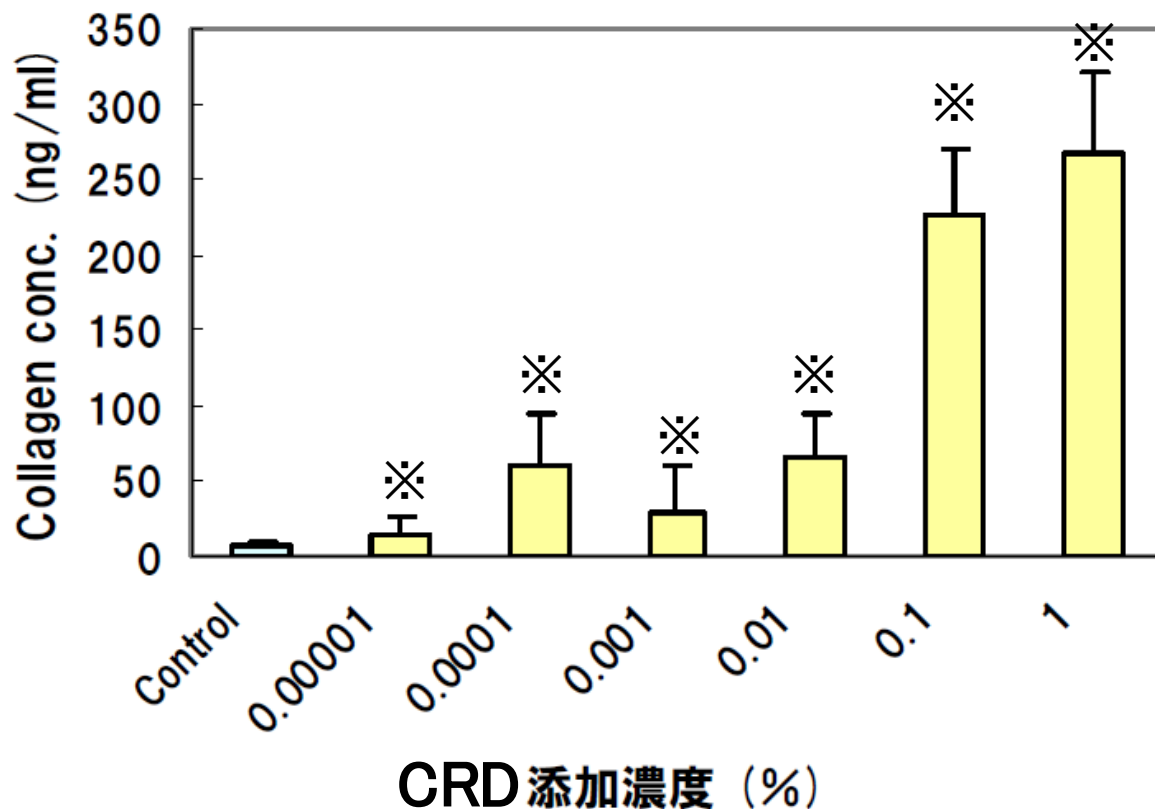
結論として、CRD投与により線維芽細胞賦活作用およびコラーゲン産生能が認められた。ヒアルロン酸には変化が見られなかった。

## CRD投与に伴うヒト皮膚線維芽細胞増殖率



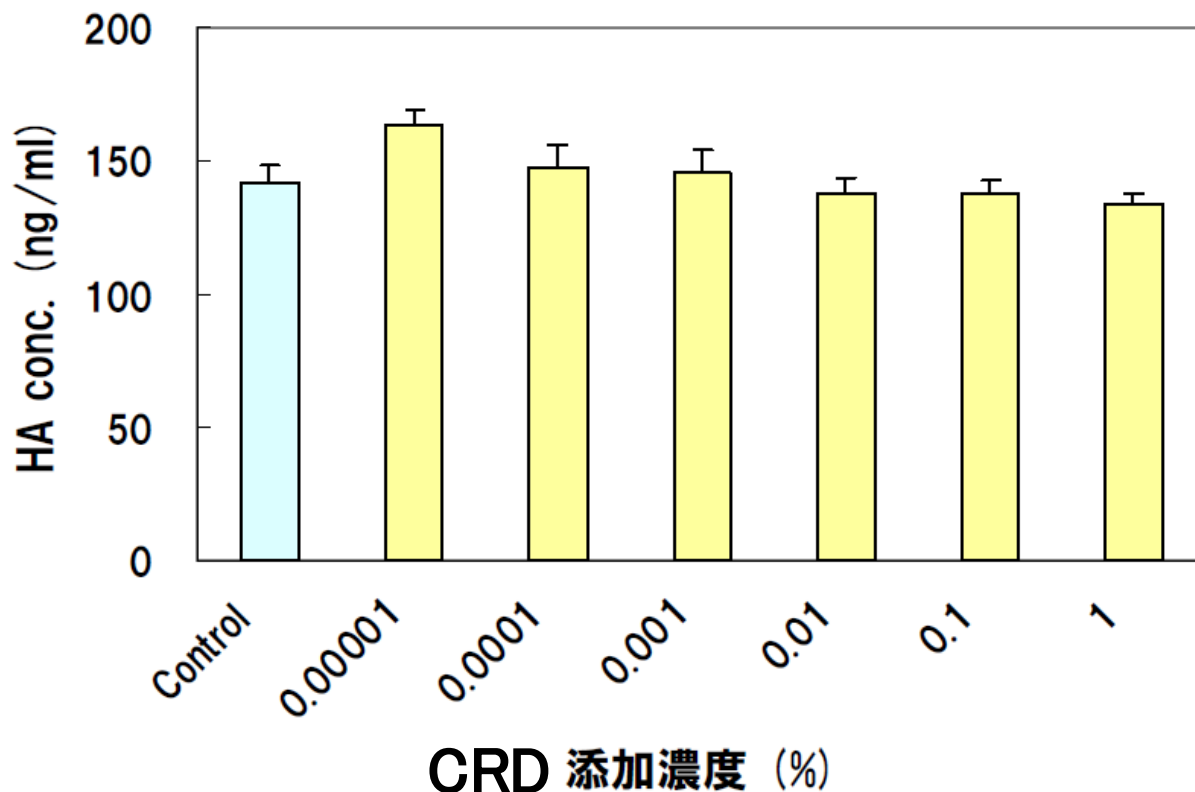
※ CRDは対照と比較し有意に線維芽細胞の増殖を促進させた。  
増殖促進のピークは0.0001%であった。

## CRD投与に伴うヒト皮膚線維芽細胞コラーゲン産生能



- ※ CRDは対照と比較し有意にコラーゲン産生能を増加させた。  
コラーゲン産生能はCRD0.1%以上で急増した。

# CRD投与に伴うヒト皮膚線維芽細胞ヒアルロン酸産生能



※ CRDはヒアルロン酸産生能には影響を及ぼさなかった